

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2014 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 熊谷陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) 更衣室は指定された場所を厳守して使用し、荷物は各大学で責任を持って管理すること。
また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
- 3) 更衣室は各日、使用した大学が使用後清掃すること。
- 4) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは一切禁止する。
- 5) 主催者の許可なく競技場内の電源を使用することを禁止する。
- 6) フィールド競技の練習は、競技役員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所で行うこと。
- 7) グラウンド及び練習場では、水以外の飲料の持ち込みは禁止する。
- 8) 室内練習場でのトレーナー活動は、事前に大会本部の許可を受けた参加校に限る。
また、更衣室でのトレーナー活動は一切禁止する。
- 9) コンコースでの練習は、事故防止のため禁止する。
- 10) メーンスタジアムにおける、競技以外での芝生への立ち入りは禁止する(ウォーミングアップも含む)。
- 11) 練習は補助陸上競技場、雨天練習場、投てき場を利用し、競技役員の指示には必ず従うこと。
- 12) 競技場保護のため、舗装材を傷つけるような底が硬い靴での競技エリアへの立ち入りは禁止する。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは正規のものを 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸、または背だけでもよい。トラック種目出場者は、競技者係で配付する写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方に付けること。すべてのナンバーカードは折り曲げてはならない。なお、男女 100m、男子 110mH、女子 100mH（混成競技も含む）、女子 3000m、男子 5000m、男女 10000mW、男女 4×400mR の第 4 走者については両腰に腰ナンバー標識を付けること。
- 2) 女子 3000m、男子 5000m、男女 10000mW、男女 4×400mR 出場者には、レース用特別ナンバーカードを配付する。当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに、招集所へ受け取りに来ること。また、確認のため事前に配付したナンバーカードを必ず持参すること。
- 3) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	配 色
● 男子	黄色地×黒数字
● 女子	ピンク地×黒数字
● 3000m・5000m・4×400mR	白地×黒数字
● 10000mW	白地×黒数字（男子） 白地×赤数字（女子）

4. 競技者の招集について

- 1) 競技場北サブゲート(200m スタート付近)に設置する。
- 2) 各種目の招集開始・完了時刻は次の通りとする。なお、招集完了時刻は競技日程を基準とする。

競 技 種 目		ラウンド	組	開 始	完 了
トラック	男子・女子 800m 以下の種目 ※リレー種目を除く	予 選	1～4	競技開始 25 分前	競技開始 15 分前
			5～7	競技開始 10 分前	競技開始 時刻
		決 勝		競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
	男子・女子 1500m、 男子 5000m、女子 3000m、 男子・女子 10000mW	予 選	1～2	競技開始 30 分前	競技開始 15 分前
			3	競技開始 15 分前	競技開始 時刻
		決 勝		競技開始 25 分前	競技開始 10 分前
	男子・女子リレー種目	予 選	1～3	競技開始 40 分前	競技開始 25 分前
			4～6	競技開始 20 分前	競技開始 5 分前
		決 勝		競技開始 35 分前	競技開始 20 分前
フィールド	男子・女子跳躍種目	決 勝		競技開始 60 分前	競技開始 50 分前
	男子・女子投てき種目	決 勝		競技開始 50 分前	競技開始 40 分前

- 3) 競技者の競技実施場所への入場は競技役員の指示による。
- 4) 代理人による点呼は認めない。ただし、2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が重複出場者届（招集所に用意）を競技者係（招集所）に提出すること。
- 5) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。
- 6) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに競技者係(招集所)に提出すること**(メンバーについては競技規則第 170 条を参照のこと)。
- 7) 本大会は、「第 25 回関東学生新人陸上競技選手権大会」(以下 関東新人)と「関東学生リレー競技会」(以下 リレー競技会)の併催という形をとっているが、この 2 大会は同一大会と見なし、関東新人にエントリーしている選手も、リレー競技会に出場できる。
- 8) 棒高跳の練習は競技実施場所で、男子は競技開始時刻 100 分前から、女子は 60 分前から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。
- 9) 混成種目の招集時刻については「8. 混成競技について 1)」を参照すること。

5. 棄権について

エントリー後、病気または事故等によりやむなく棄権する場合は不出場届（大会本部指定の用紙を招集所に用意）に必要事項を記入、押印し競技者係（招集所）に提出すること。ただし、9月21日（日）の代表者会議にて棄権が承認された場合は提出しなくてよい。

6. 競技の抽選・番組編成・結果について

- 1) トラック種目のレーン順は、プログラム記載順とする。なお、出場人数が8名以下の場合、1レーンを空けて2レーンから行う。
- 2) フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
- 3) 予選以降の組み合わせ、およびレーン順は主催者が公正に抽選する。
- 4) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。
- 5) 800m以下のトラック種目とリレー種目は、A 決勝進出者（チーム）以外の記録上位 8 名（チーム）による B 決勝を実施する。
- 6) タイムによる次のラウンドへの進出者を決定する時に、最終枠に同記録があり、レーンが不足する場合は、写真判定員主任が 0.001 秒単位の時間を判定して進出者を決定する。それでも決定できない場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い、決定する（競技規則第 167 条同成績に関する条項を参照）。
- 7) 競技結果の正式発表は電光掲示板ではなく、記録掲示板（正面玄関左に設置）に貼り出す事により行う。場内アナウンスでも発表は行うが、抗議については記録掲示板への貼り出し時刻が基準となるので注意すること。
- 8) 競技結果等は記録処理終了後、随時、関東学連携帯速報サイトにて発表する。
関東学連携帯速報サイト <http://www.kgr.jp/i/>（大会プログラム表紙、QR コード参照）

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（やり・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- 2) 走高跳・棒高跳の練習に関しては、本連盟で用意したゴム製バーを使用して行う。
- 3) やりに関して、持ち込みを希望する場合は、招集完了時刻 1 時間前までに用器具庫 101（フィニッシュ側）にて、公式計測員の検査を受け使用することができる。なお、個人所有のものは、競技場の備品としての扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後、用器具庫 101 にて返却する。

8. 競技について

● トラック競技について

- 1) 計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。
- 2) 男女 10000mW において、男子は 58 分 00 秒、女子は 63 分 00 秒で残り 1 周に達していない場合は、競技を打ち切る。
- 3) 5000m 以上の種目では、必要に応じてバックストレートに給水所を設置し、水及びスポンジを用意する。なお、給水後のコップ、スポンジについては他の競技者の妨害になるような捨て方は禁止する。

● 跳躍競技について

- 1) 高さで順位を決定する競技のバーの上げ方は次の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

走高跳		練習	1	2	3	4	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 3cm 刻みとする。		
	男子	1m90 2m00	2m00	2m05	2m10	2m13			
	女子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70			
棒高跳		練習	1	2	3	4	5	6	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは、5cm 刻みとする。
	男子	4m40 4m80	4m50	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	
	女子	2m50	2m60	2m80	3m00	3m20	3m30	3m40	

2) 三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から男子 13m、女子 10m とする。

● 混成競技について

- 1) 招集は 1 日目、2 日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。招集時刻は競技開始予定時刻の 30 分前に開始し、20 分前に完了とする。ただし、七種競技 2 日目の走幅跳は 50 分前に開始し、40 分前に完了とする。なお、以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- 2) 混成競技者控室は、男子は男子更衣室 101、女子は女子更衣室 101 に設置する。
- 3) 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- 4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	以後、3cm 刻みとする。
	女子	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	
棒高跳	男子	2m60 3m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以後、10cm 刻みとする。

9. 表彰について

- 1) 各種目 3 位までに入賞した者（B 決勝が行われた場合は A 決勝の 3 位まで）は、競技終了後に表彰を行うので、受賞者集合場所（表彰控室）に集合し、式典表彰係の指示に従うこと。
- 2) 表彰を受ける際は、上は各校の公式ユニフォーム、下は公式ジャージを着用すること。また、ナンバーカードも着用すること。
- 3) 代理表彰は一切認めず、不在の場合、空席として表彰を行う。
- 4) すべての競技終了後、本大会最優秀競技者を男子、女子各 1 名選出し、表彰する。選ばれる可能性のある選手は、大会終了時まで競技場に残ること。また、1 日目の種目も対象となるため、注意すること。

10. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により、**結果が記録掲示板(正面玄関左に設置)に正式発表されてから 30 分以内(同一日に次のラウンドがある場合は 15 分以内)**に、担当総務員（大会本部に常駐）を通じて、口頭で審判長になされなければならない。時間内に申し出がなければ、問題はなかったものとみなす。抗議に対して審判長は速やかに裁定する。

なお、競技結果の正式発表は「6. 競技の抽選・番組編成・結果について 7)」のとおり行う。

11. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずテープ等を貼って隠すこと。

12. 衣類の管理について

- 1) トラック競技出場者の衣類等を管理するためのビニール袋を主催者で準備する。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等は主催者で用意したビニール袋に入れ競技役員が指示した場所に置くこと。これらの衣類は、ただちにフィニッシュ付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り、退場すること。
- 3) 各リレー種目の荷物運搬に関しては主催者では行わないので、各自で行うこと。

13. 応急処置・緊急車両の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2014 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

14. 応援について

正面スタンドでの大学を明示するもの（部旗、横断幕、幟等）の使用・掲出は禁止する。横断幕については、各校 1 枚に限りバックスタンドでの掲出を許可する。その際は、必ず紐を使用し、テープ等の使用は禁止する。手持ちの幟等についてもバックスタンドに限り掲出を許可する。また、メガホン・鳴り物等による応援、正面スタンドでの集団応援は禁止する。

15. その他

- 1) 2014 年度日本陸上競技連盟競技規則の修改正点について特に注意すること。
- 2) トラック種目における不正スタートは 1 回で失格とする。混成競技については 2 回目は誰であろうと失格とする。
- 3) サークルを使用しての投てき練習は 1 人 1 回につき 1 分以内とする。
- 4) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- 5) 競技運営上、多少の競技日程の変更をする場合がある。
- 6) 競技エリア内での競技者への付添は禁止する。

- 7) 盗難・紛失について
主催者で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は学連控室で管理する)。
- 8) 荷物の搬出入について
各大学車輛の競技場構内への進入は禁止する。ただし、荷物搬出入券を持参している場合に限り東第4多目的広場からの入場を許可する。その際、競技場付近での駐車は禁止し、荷物の積み下ろし後は、公園の駐車場等に移動すること、路上駐車は禁止する。
- 9) 熊谷陸上競技場開門及び閉門時刻について
- | | (開 門) | (閉 門) |
|-----------------|-------|-------|
| 1日目<9月22日(月)> | 7:00 | 18:30 |
| 2日目<9月23日(火・祝)> | 7:00 | 17:00 |
- ※開・閉門時刻は厳守のこと。
- 10) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟